

13. 防災

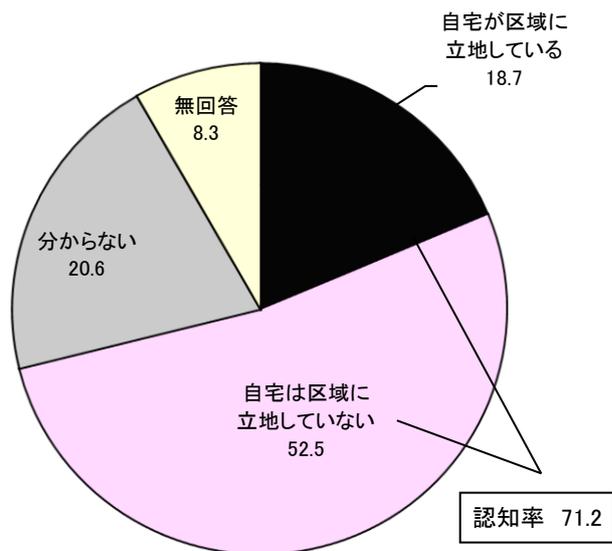
(1) 水害・土砂災害の危険性

問32 お住いの地域は、水害・土砂災害の危険性がありますか。お住まいが該当する区域に立地するかお答えください。(各項目1つずつ選択)

**お住いの地域の、水害・土砂災害の危険性の有無を
認知している割合は約7割**

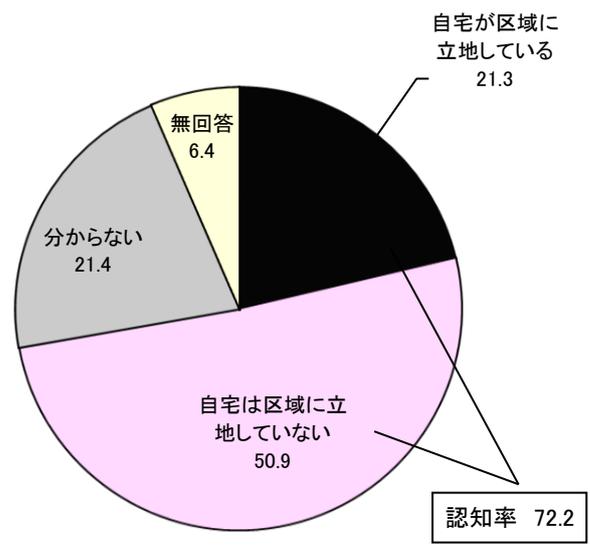
お住まいが「洪水浸水想定区域」に該当は18.7%、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」に該当は21.3%、「自宅は区域に立地していない」に該当は、洪水浸水想定区域が52.5%、土砂災害警戒区域・特別警戒区域が50.9%と、水害・土砂災害の危険性を認知している割合は、いずれも7割を超えている。

①洪水浸水想定区域



(単位:%)

②土砂災害警戒区域・特別警戒区域



(単位:%)

＜属性による比較＞

①洪水浸水想定区域

【生活圏別】

「自宅が区域に立地している」の割合は備後地方生活圏(22.2%)、「自宅は区域に立地していない」の割合は広島地方生活圏(55.7%)で他の生活圏と比べて高くなっている。「認知率」の割合は、広島地方生活圏が7割を超えて他の生活圏と比べて高くなっている。

【性別】

「認知率」の割合は、男性(72.6%)が女性(70.0%)と比べて2.6ポイント高くなっている。

【年代別】

「認知率」の割合は、20～30歳代を除く年代で7割を超えている。

②土砂災害警戒区域・特別警戒区域

【生活圏別】

「自宅が区域に立地している」の割合は備北地方生活圏(28.1%)、「自宅は区域に立地していない」の割合は広島地方生活圏(54.7%)で他の生活圏と比べて高くなっている。「認知率」の割合は、広島地方生活圏が7割を超えて他の生活圏と比べて高くなっている。

【性別】

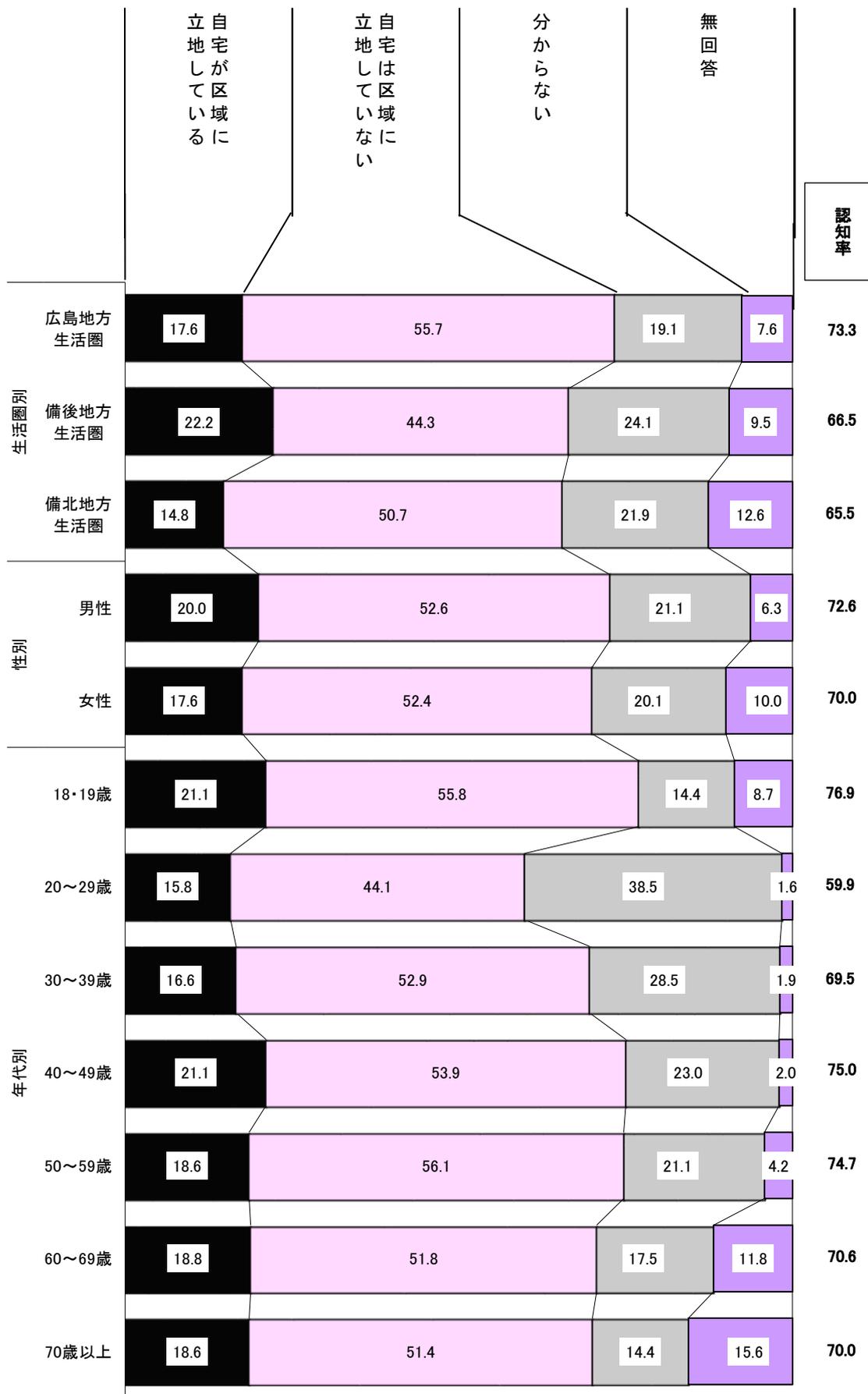
「認知率」の割合は、男性(73.8%)が女性(70.9%)と比べて2.9ポイント高くなっている。

【年代別】

「認知率」の割合は、18・19歳及び40～60歳代で7割を超えている。

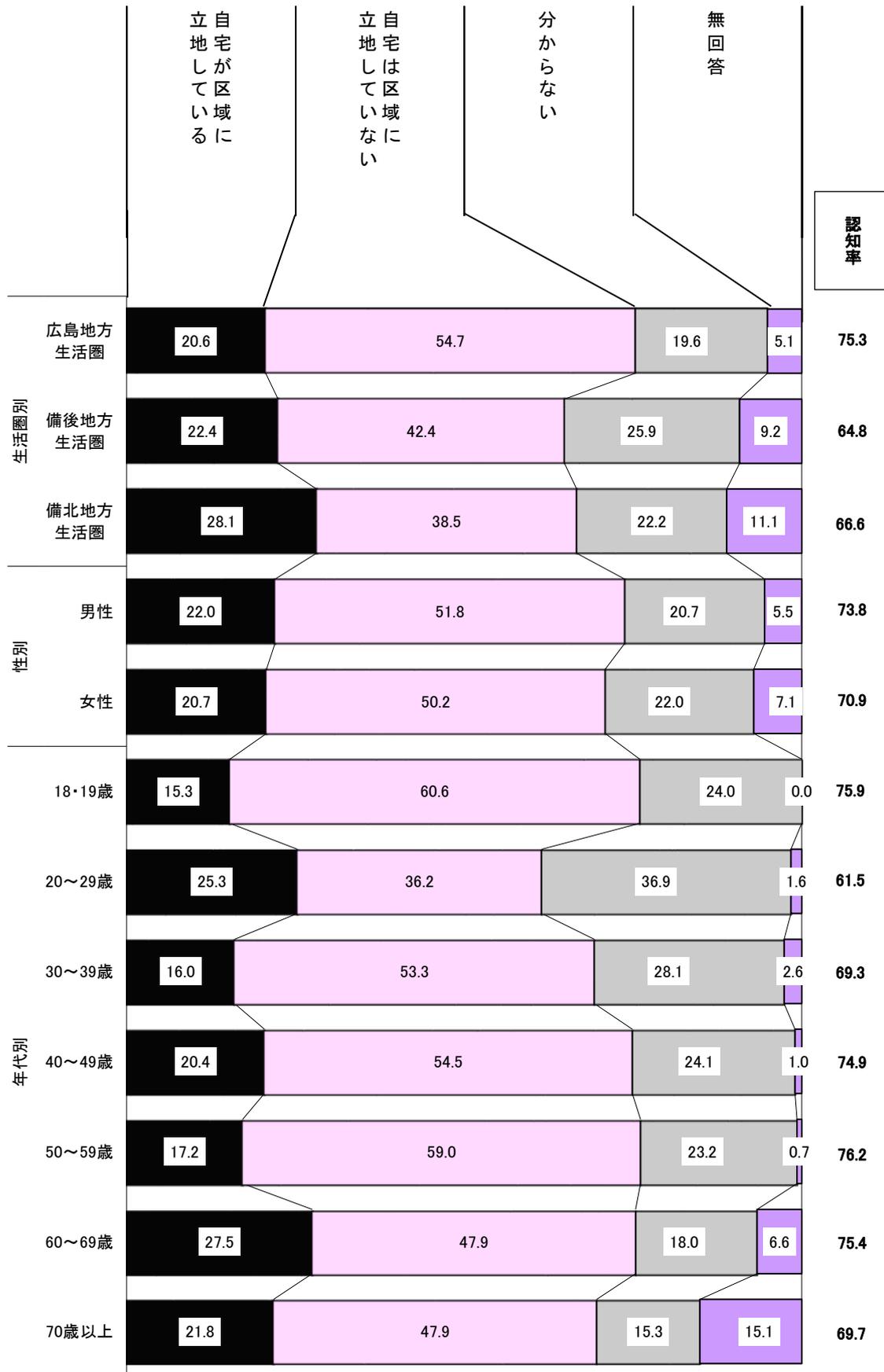
水害・土砂災害の危険性(生活圏, 性, 年代別)

①洪水浸水想定区域



(単位: %)

②土砂災害警戒区域・特別警戒区域



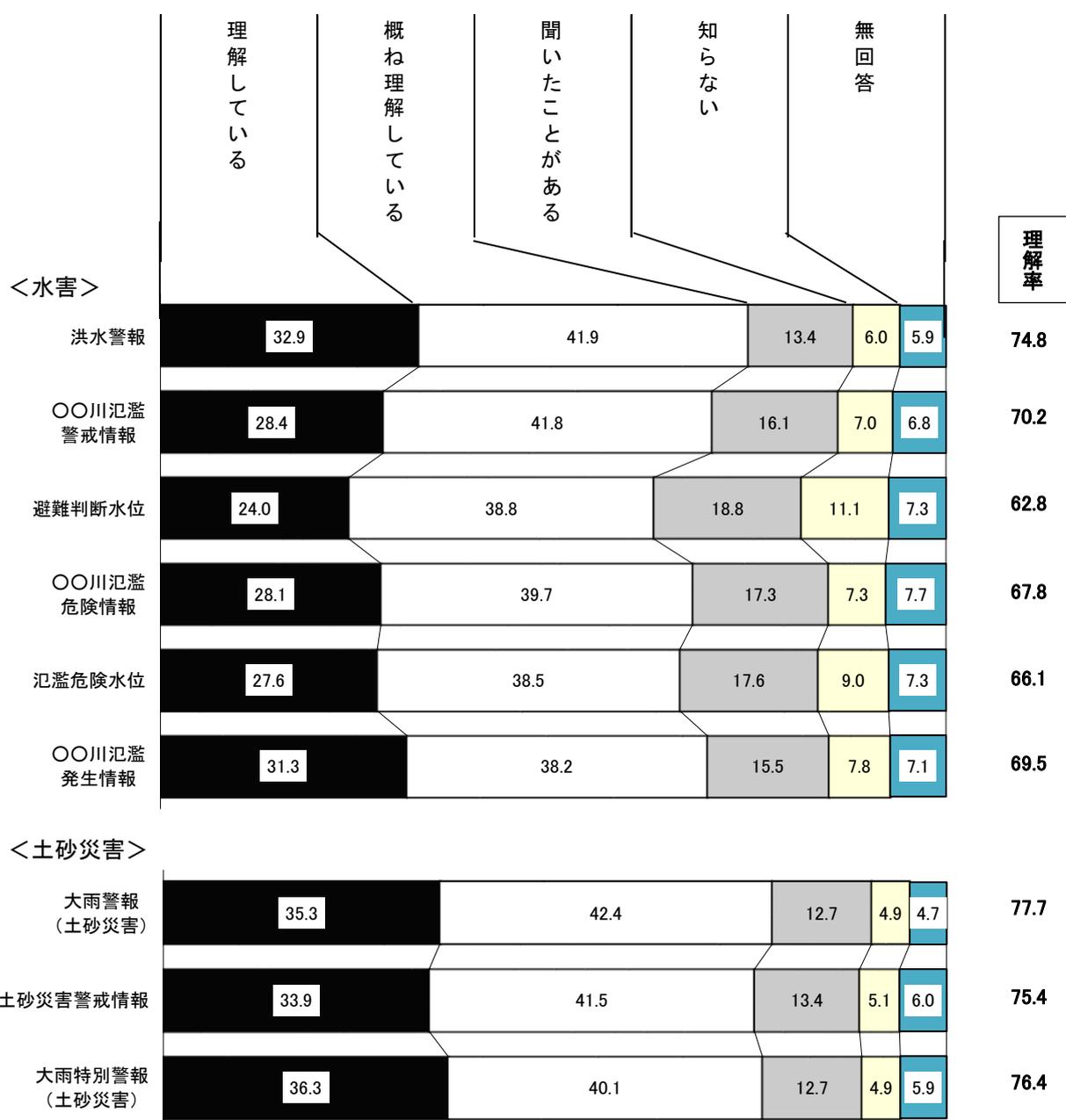
(単位: %)

(2) 防災気象情報でとるべき行動理解度

問33 県や気象台が発表する防災気象情報は、情報ごとにご自身がとるべき行動が異なります。どの程度理解しているかをお答えください。(各項目1つずつ選択)

とるべき行動理解率は、洪水警報・〇〇川氾濫警戒情報 土砂災害全般で7割を超える

防災気象情報でとるべき行動について、理解率(「理解している」「概ね理解している」)は水害「洪水警報」で74.8%、「〇〇川氾濫警戒情報」で70.2%と7割を超えて高くなっている。土砂災害は全て7割を超えて高くなっている。



(単位:%)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

「理解率」の割合は、広島地方生活圏で「洪水警報」(76.6%)「〇〇川氾濫警戒情報」(72.3%)「〇〇川氾濫発生情報」(71.6%)「土砂災害全般」、備後地方生活圏で「〇〇川氾濫危険情報」(71.5%)「氾濫危険水位」(71.2%)が7割を超えて他の生活圏と比べて高くなっている。

【性別】

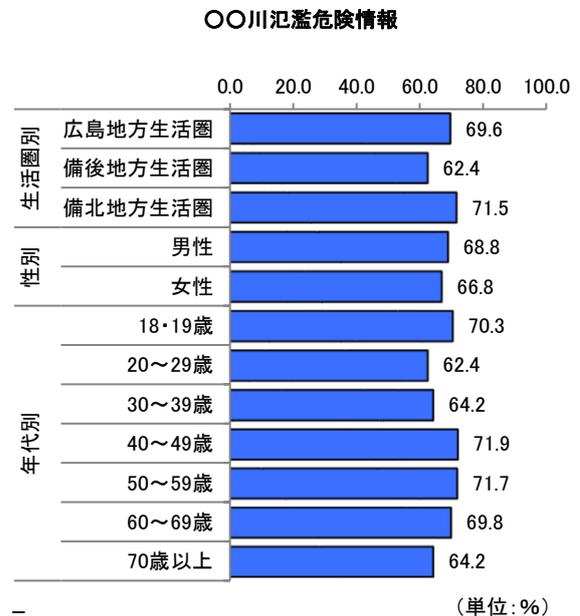
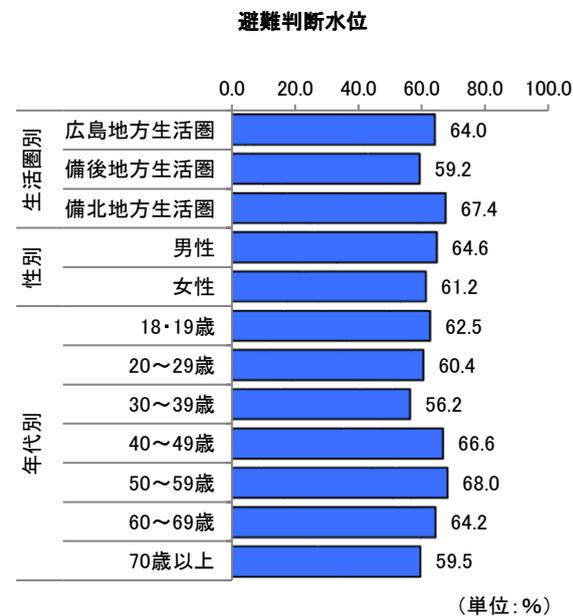
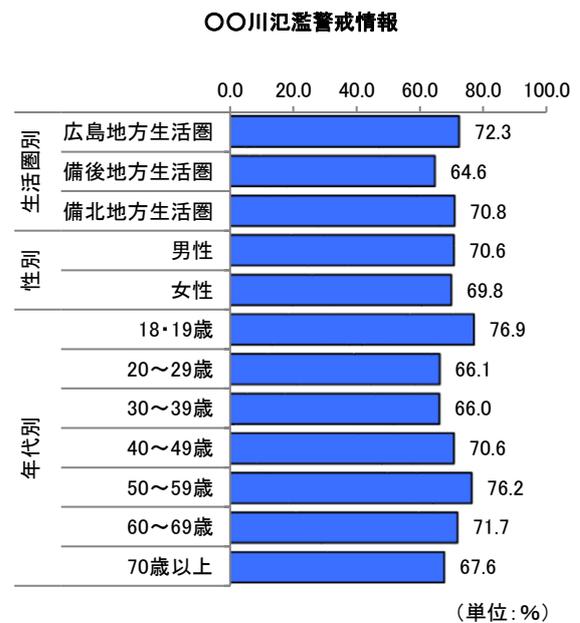
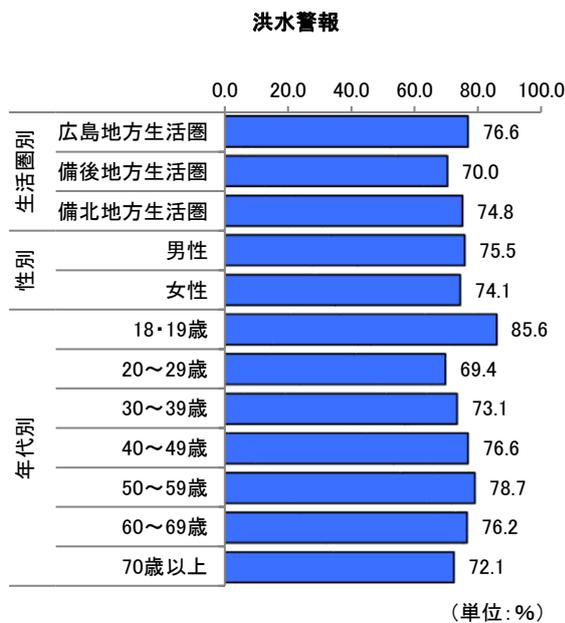
男女共に「理解率」の割合が6割を超えており、明確な差が見られない。

【年代別】

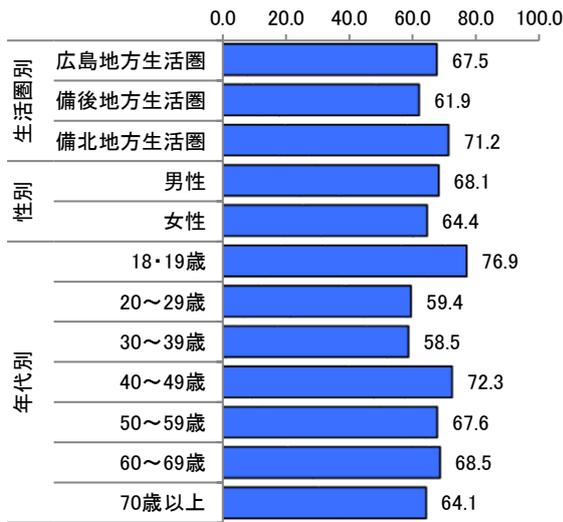
「理解率」の割合は、18・19歳で「洪水警報」(85.6%)「大雨警報(土砂災害)」(85.6%)、40歳代で「大雨特別警報(土砂災害)」(83.0%)「土砂災害警戒情報」(80.3%)が8割を超えて他の年代と比べて高くなっている。

防災気象情報でとるべき行動について

理解率(「理解している」「概ね理解している」)(生活圏, 性, 年代別)

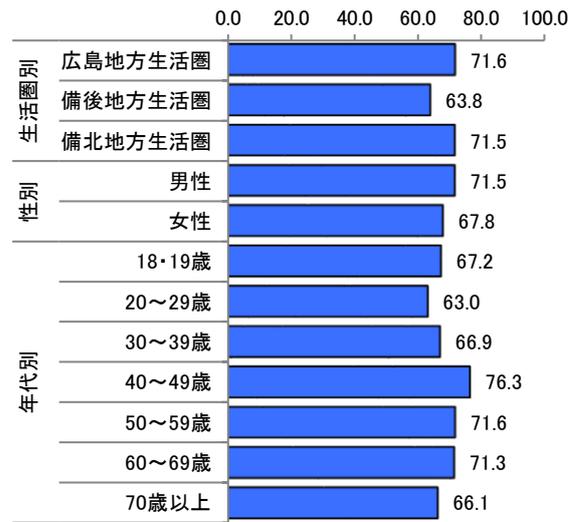


氾濫危険水位



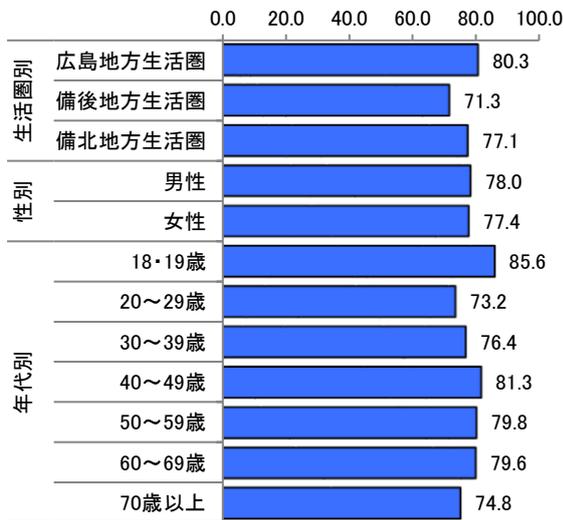
(単位:%)

〇〇川氾濫発生情報



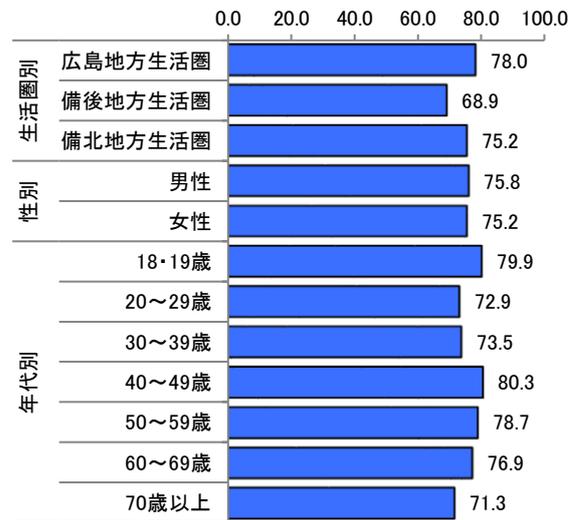
(単位:%)

大雨警報(土砂災害)



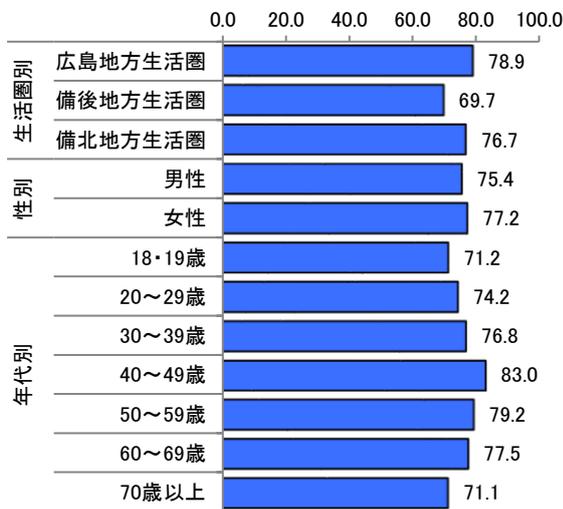
(単位:%)

土砂災害警戒情報



(単位:%)

大雨特別警報(土砂災害)



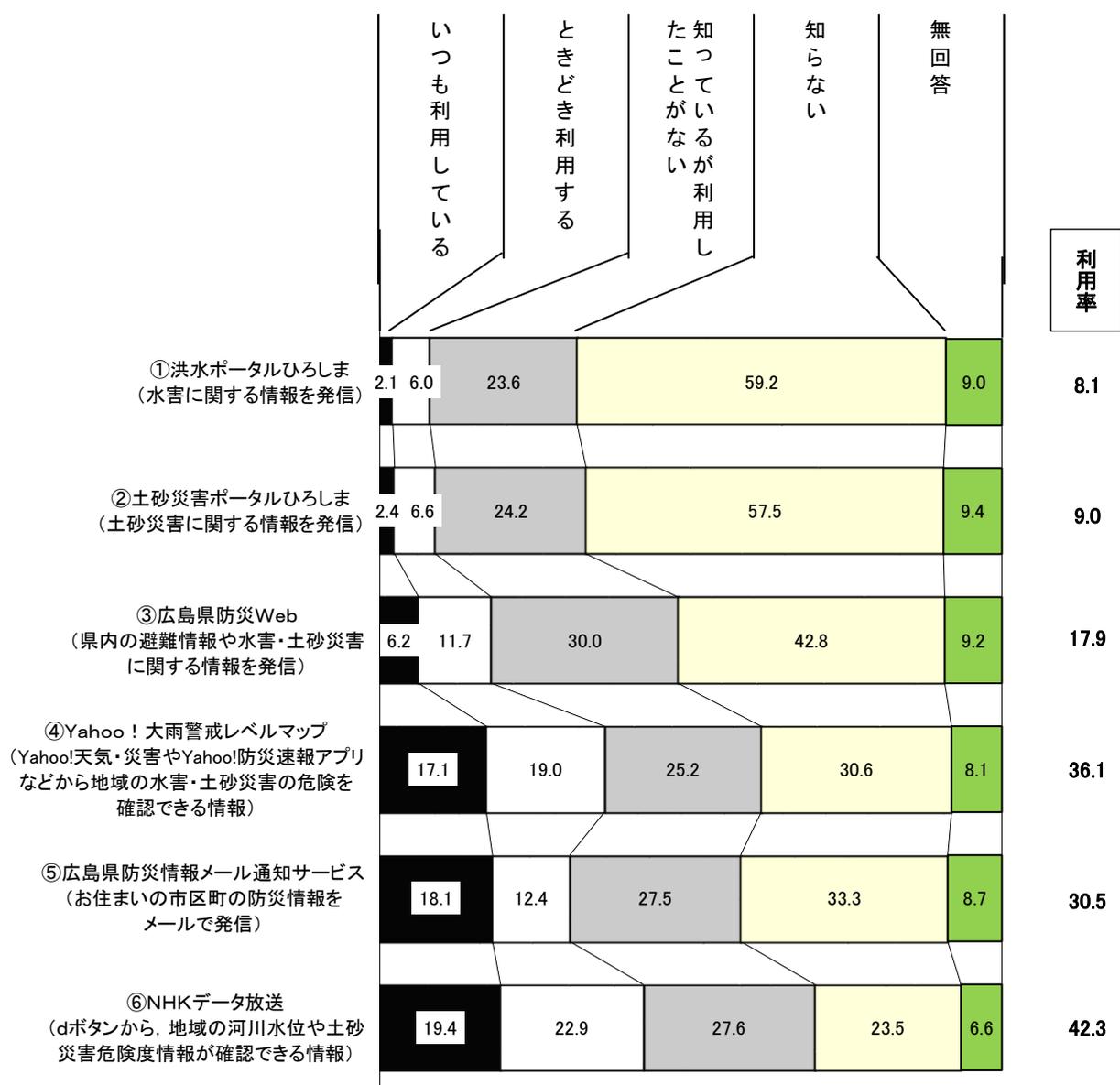
(単位:%)

(3) 防災情報入手メディア利用頻度

問34 広島県が発信する水害・土砂災害に関する防災情報を入手するにあたり、次のメディアを利用したことがありますか。(各項目1つずつ選択)

「NHKデータ放送」の利用率は約4割

防災情報入手メディア利用頻度について、利用率(「いつも利用している」「ときどき利用する」)は「NHKデータ放送」が42.3%と最も高く、次いで「Yahoo!大雨警報レベルマップ」(36.1%)、「広島県防災情報メール通知サービス」(30.5%)となっている。



(単位：%)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

「利用率」の割合は、全てのメディアで広島地方生活圏が他の生活圏と比べて最も高くなっている。その中でも、「広島県防災Web」「Yahoo！大雨警戒レベルマップ」は他の生活圏と比べて5ポイント以上高くなっている。

【性別】

「利用率」の割合は、男女共に「NHKデータ放送」の利用率が4割を超えて高くなっている。

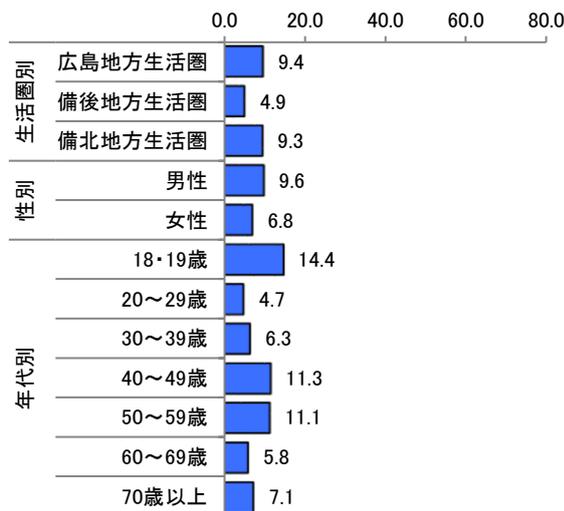
【年代別】

「利用率」の割合は、30歳代で「Yahoo！大雨警戒レベルマップ」(55.6%)、50歳代で「NHKデータ放送」(52.0%)が5割を超えて他の年代と比べて高くなっている。

防災情報入手メディア利用頻度について

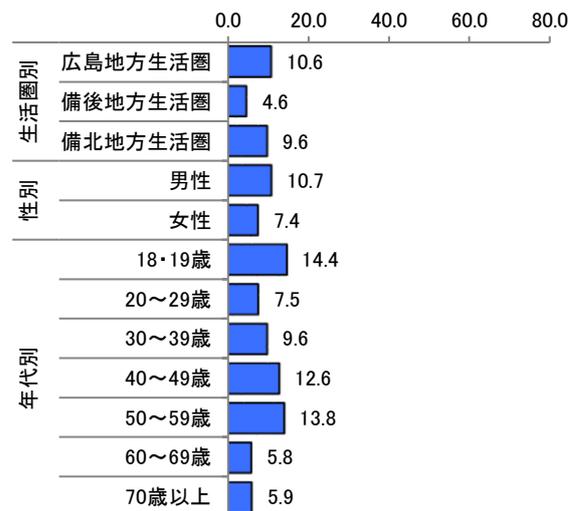
利用率(「いつも利用している」「ときどき利用する」)(生活圏, 性, 年代別)

①洪水ポータルひろしま



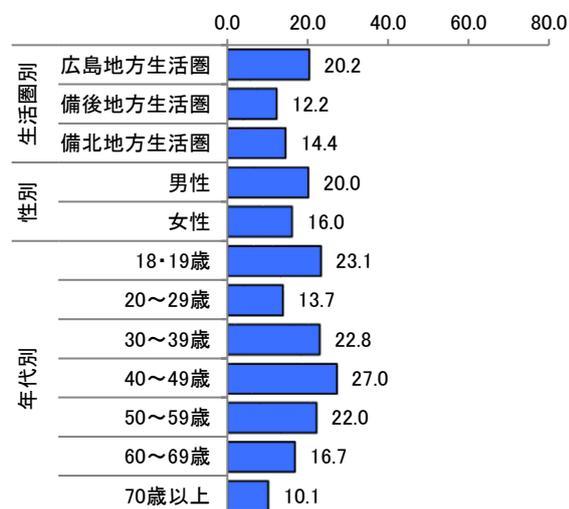
(単位: %)

②土砂災害ポータルひろしま



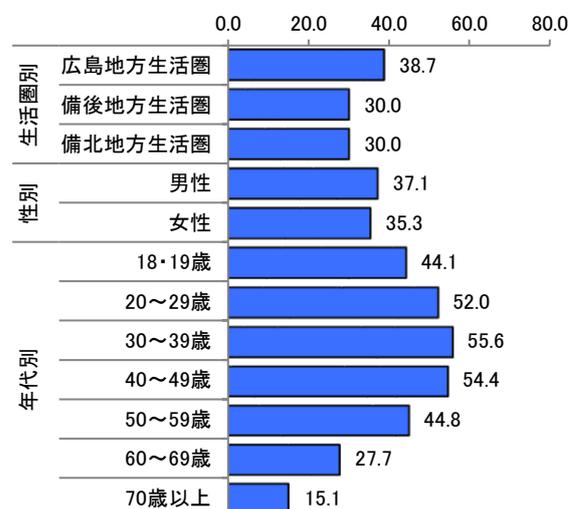
(単位: %)

③広島県防災Web



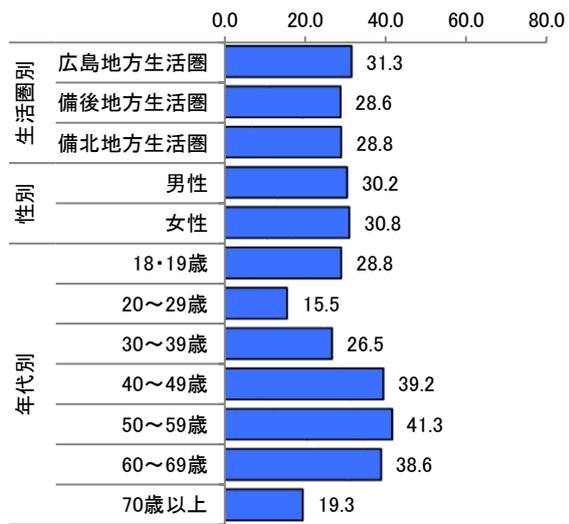
(単位: %)

④Yahoo！大雨警戒レベルマップ



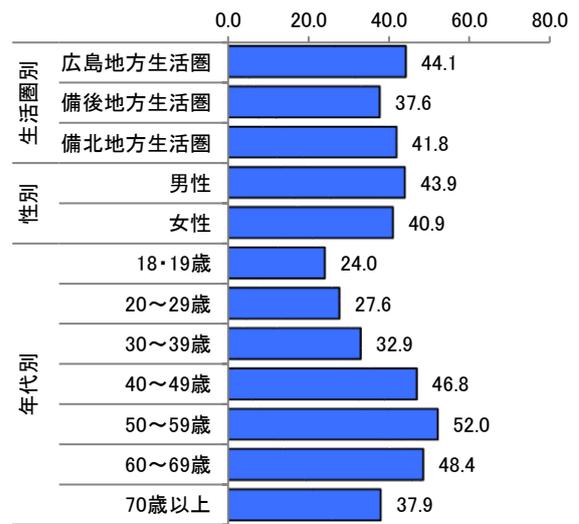
(単位: %)

⑤広島県防災情報メール通知サービス



(単位: %)

⑥NHKデータ放送



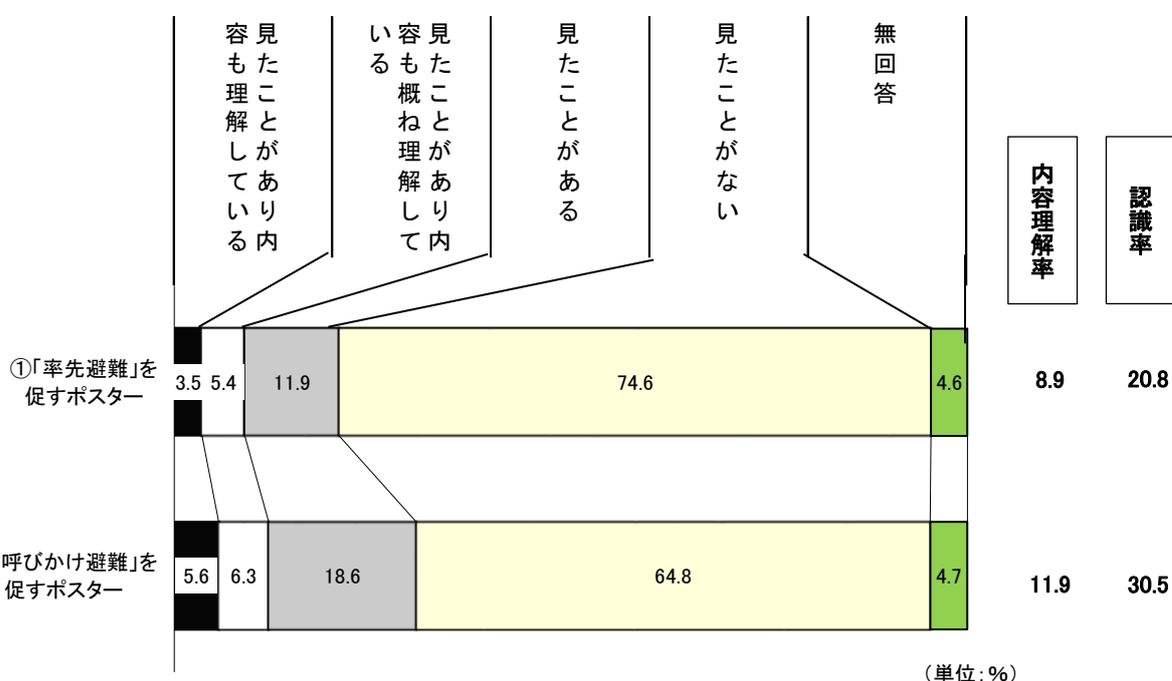
(単位: %)

(4) 避難の重要性を伝えるポスターについて

問35 平成30年7月豪雨災害を踏まえ避難の重要性を伝えるポスターを公共機関等に掲示しています。この取組についてお答えください。(各項目1つずつ選択)

「率先避難を促すポスター」「呼びかけ避難を促すポスター」 の内容理解率は1割前後

避難の重要性を伝えるポスターについて、内容理解率(「見たことがあり内容も理解している」「見たことがあり内容も概ね理解している」)は「率先避難を促すポスター」で8.9%、「呼びかけ避難を促すポスター」で11.9%となっている。また、認識率(「見たことがあり内容も理解している」「見たことがあり内容も概ね理解している」「見たことがある」)は「率先避難を促すポスター」で20.8%、「呼びかけ避難を促すポスター」で30.5%となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

「内容理解率」の割合は、備北地方生活圏で「率先避難を促すポスター」(10.8%)「呼びかけ避難を促すポスター」(13.3%)ともに他の生活圏と比べて最も高くなっている。

【性別】

「内容理解率」の割合は、男性で「率先避難を促すポスター」(11.3%)「呼びかけ避難を促すポスター」(12.8%)ともに女性と比べて高くなっている。

【年代別】

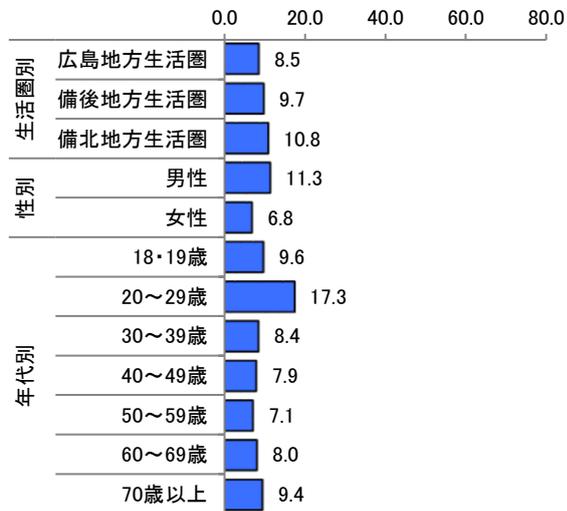
「内容理解率」の割合は、20歳代で「率先避難を促すポスター」(17.3%)「呼びかけ避難を促すポスター」(15.9%)ともに他の年代と比べて高くなっている。

避難の重要性を伝えるポスターについて

内容理解率(「見たことがあり内容も理解している」「見たことがあり内容も理解している」)

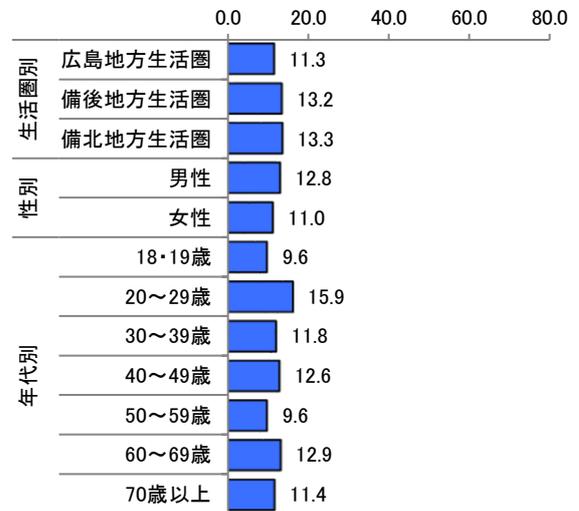
(生活圏, 性, 年代別)

①「率先避難」を促すポスター



(単位: %)

②「呼びかけ避難」を促すポスター



(単位: %)